



2018年11月9日

神戸観光局、セブン・イレブン・ジャパン、セブン銀行 訪日外国人旅行者の誘客に向けた協定を締結

記

株式会社セブン・イレブン・ジャパン（代表取締役社長：古屋 一樹）、株式会社セブン銀行（代表取締役社長：舟竹 泰昭）は、一般財団法人神戸観光局（会長：尾山 基）と2018年11月9日（金）、神戸観光圏を訪れる「訪日外国人旅行者の誘客と受入環境整備に関する連携協定」を締結しましたので、お知らせいたします。

株式会社セブン・イレブン・ジャパンは、神戸市と2015年12月に地域活性化包括連携協定を締結し、これまで地産地消や食育、観光振興などの分野で協力関係を構築してまいりました。

神戸を訪れる外国人旅行者は平成29年度に134万人となり、今後は2019年ラグビーのワールドカップや2021年関西ワールドマスターズゲームをはじめとする大型スポーツイベントが日本で開催されるゴールドデンスポーツイヤーズを控え、国内外からさらに多くの来客を見込んでいます。本協定は、新たにセブン銀行を加え、今後増加が見込まれる訪日外国人旅行者への、神戸の魅力の更なる発信と神戸への再来訪を促す基盤作りを目指すものです。

記

1. 協定の名称 『訪日外国人旅行者の誘客と受入環境整備に関する連携協定』
2. 協定締結日 2018年11月9日（金）
3. 協定の目的 神戸観光圏を訪れる訪日外国人旅行者の誘客促進と圏内滞在環境のさらなる充実を図る
4. 連携事項
 - (1) 訪日客向け情報提供
 - (2) 訪日客向けサービスの提供
 - (3) その他、神戸の観光振興に資すると認められる事項

以上

【ご参考】

＜包括連携協定における具体的な取り組み＞

(1) 訪日客向け情報提供

① 観光案内プレートの設置

平成30年4月～随時神戸観光局で設置、協定締結後、協力可能なセブン-イレブン各店舗にて随時設置

＜概要＞

神戸観光局がオリックス株とすすめる観光案内プレートを神戸観光圏のセブン-イレブン店舗に設置するもの。訪日外国人旅行者の受入環境整備と消費拡大の促進を図るため、スマートフォンをかざすだけで「神戸公式観光サイト Feel KOBE」で掲載している各種観光関連情報を多言語で入手できる情報案内サービスを市内で展開中。現在、神戸市総合インフォメーションセンターや、市内主要ホテル、旅館等にプレート約300枚を配架中。

② ポスター掲出・チラシ配架

協定締結後、協力可能なセブン-イレブン各店舗にて随時設置

③ インバウンド向け観光ガイドマップのタイアップ

＜概要＞

神戸観光局が作成する Kobe City Map にセブン-イレブン店舗・セブン銀行のATMを掲載。また、災害時の対応、避難先も明記することで非常時にも活用できるマップを作成予定。

(2) 訪日客向け情報提供

各種イベント開催に向けた機運醸成・おもてなし

＜概要＞

・2019年ラグビーワールドカップ、2021年ワールドマスターズゲーム開催都市のひとつとして機運醸成のための商品開発タイアップ

(3) その他、神戸の観光振興に資する事項

セブン-イレブン店舗数・セブン銀行ATM台数

	セブン-イレブン (店舗数：2018年10月末)	セブン銀行ATM (台数：2018年9月末)
兵庫県内	706 店舗	819 台
神戸観光圏内	391 店舗	472 台
神戸市内	224 店舗	279 台